

＜教科等横断型授業＞		地歴公民（政治・経済）× コミュニケーション英語Ⅲ		学習指導案	
日時	令和4年 10月31日（月）第1時限		教室	113教室	
本時の主題	気候変動問題について				
使用教科書	地歴公民（政治・経済）	改訂版 政治・経済（第一学習社）			
	英語（コミュニケーション英語Ⅲ）	LANDMARK English Communication III(啓林館)			
学習単元	地歴公民（政治・経済）	第3編 第2章 ①地球環境と資源・エネルギー問題			
	英語（コミュニケーション英語Ⅲ）	Lesson 12 Light Pollution			
実社会での課題	気候変動問題に関しては、「持続可能な開発」を前提としており、現在の経済発展を継続しながら、国際的な協力や連携が求められている。しかしながら、経済発展を達成し豊かな生活を享受している先進国と貧困を克服し豊かな生活の実現を目指すために環境保全より経済成長の優先を主張する傾向がある発展途上国との利害対立や、先進国間にも利害対立があり、実現に向けて、様々な交渉や取組が進められている。			関連項目	
				Science	
				Technology	○
				Engineering	
				Liberal Arts	
				Mathematics	
SDG	13				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	持続可能な国際社会づくりに向けて、「持続可能な開発」という観点から、気候変動問題を多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述できる力を身に付けさせる。				
指導過程	学習活動		時間	指導上の留意事項	資料等
	導入	1 本時の学習の社会的な背景について理解する。	5	・気候変動問題が喫緊で深刻な問題であることを理解させる。	・ロイロノート ・一人一台端末 ・ワークシート
		2 本時の目標を把握する。			
	展開	1 各国の気候変動問題に対する立場の違いを理解する。	10	・発展途上国にとっては、経済発展も欠かせないということを意識させる。 ・海面上昇によって水没の危機にさらされている国々の現状を理解させる。 ・“phase out” から “phase down” に表現が弱められた経緯と、それぞれの表現が表す違いについて考えさせる。	○基本的な取組を理解している。 ＜知識・理解＞ ○英語を通して、気候変動問題の課題について考えることができる。 ・NHK WORLD JAPAN ＜理解・思考力＞
		2 COP26 における最終合意に至る経緯について英語のニュースを通じて学習する。 (1) ツバル外務大臣のメッセージを扱ったニュースの視聴 (2) COP26 に関するニュースの視聴	15		
3 持続可能な国際社会の実現に向けて、どのように貢献できるか、考察する。		15	・多面的な視点から、自分たちがどう行動すべきか考えさせる。		
整理	1 本時のまとめをする。	5	・本時のまとめを行い、学習内容の定着を図る。		
備考	3年普通科 文型 生徒数 41名（男子 14名 女子 27名）				